

俳句のまち
あらかわ



俳都松山
Haiku Capital Matsuyama



早稲田大学俳句研究会



東大俳句会



無料

子規・漱石 2 人の俳句の魅力語りあう

第 5 回 句あわせ in 日暮里

令和 5 年 1 月 14 日 土

日暮里サニーホール JR日暮里駅 徒歩 2 分
(荒川区東日暮里 5 丁目 50-5 アートホテル日暮里 ラングウッド 4F)

観覧者募集: 200 人 (申込順)

午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 (開場 午後 1 時)

第 1 部 子規・漱石 句あわせ

子規チーム《東大俳句会》と漱石チーム《早稲田大学俳句研究会》の両チームが、それぞれ子規・漱石の俳句を鑑賞し、ディベートにて熱戦を繰り広げ、俳句の魅力を伝えます。

第 2 部 俳人による鼎談

子規・漱石の「写生」
3 名の俳人が、ゆかりの地・日暮里で俳句の魅力を語り合います。

出演者

対馬 康子 氏 (現代俳句協会副会長、「麦」会長、「天為」最高顧問)
岸本 尚毅 氏 (「天為」「秀」同人)
黒岩 徳将 氏 (現代俳句協会青年部長、「いつき組」所属、「街」同人)
東大俳句会、早稲田大学俳句研究会のみなさん

HPからの
申込はこちら



申込

12月5日(月曜日)から1月4日(水曜日)まで
電話、ファクス、来所、はがき、荒川区ホームページで申込み
電話: 03-3802-3795 受付時間 平日 8:30~17:15 まで
ファクス: 03-3802-4769 来所: 荒川区役所 4 階文化交流推進課
はがき: 〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 荒川区文化交流推進課文化振興係まで
ホームページ: https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a015/event/shiki_oseki.html
氏名・住所・電話番号をお知らせください。中高大学生の場合は学校名・学年も
車いすをご利用の方は、事前にご連絡ください。
新型コロナウイルス感染拡大状況により、実施方法等に変更の可能性があります。

主催: 荒川区 [文化交流推進課] 企画協力: 黒岩徳将氏 後援: 松山市

日暮里 と 正岡子規 夏目漱石 のゆかり

正岡子規は、明治27年(当時26歳)に上根岸町82番地(新聞記者・評論家の陸羯南宅の東隣、現在の台東区根岸2丁目「子規庵」)に居を移しました。そして、近隣の日暮里や三河島といった荒川のまちを散策し、そこで目にした三河島菜などの俳句を詠みました。子規と親交の深かった夏目漱石もたびたび子規庵を訪れ、句会に参加しました。

荒川区・芋坂の羽二重団子は、子規や漱石に愛され、彼らの作品にもしばしば登場します。右の句は、団子と月を詠んだ子規の句です。また、漱石の小説「吾輩は猫である」の中にも羽二重団子が登場します。

子規が通った「共立学校」は、後の開成高校(荒川区西日暮里)であり、その縁もあり、開成高校の俳句部は、毎夏、松山市で開催される俳句甲子園の優勝常連校です。また、子規が高浜虚子に後継者となることを断られた茶屋でのエピソードは開成高校がある道灌山を舞台としており「道灌山事件」と呼ばれています。

このように、正岡子規、夏目漱石と荒川区はとても縁があるのです。

芋坂も団子も月のゆかりかな
正岡子規

俳句のまちあらかわ

荒川区は古くから俳句にゆかりのあるまちで、子規の他にも多くの俳人たちが俳句を詠みました。日暮里は江戸時代、「日ぐらしの里」と呼ばれた風光明媚な花見や虫聴きの名所であり、小林一茶も本行寺をたびたび訪れ、句を詠みました。本行寺には、一茶の「陽炎や道灌どの物見塚」、また、種田山頭火の「ほつと月がある東京に来てゐる」といった句碑があります。

一方、日光街道の千住宿(荒川区南千住)は、松尾芭蕉「おくのほそ道」矢立初めの地です。

「行く春や鳥啼き魚の目は涙」・・・この句を矢立初めの句として芭蕉は旅立ちました。

このように、俳句ゆかりの地である荒川区は、平成27年3月に「俳句のまちあらかわ」を宣言し、投句からイベントまで様々な俳句文化振興の事業を行っています。

正岡子規生誕の地「俳都松山」

愛媛県松山市は、正岡子規や高浜虚子、石田波郷など多くの俳人を輩出した「俳都」として知られています。平成26年8月には、俳句を楽しみ尽くす好奇心をエネルギーとした子規の革新精神を受け継ぎ、松山から俳句の風を絶やさず起こし続けることを宣言した「俳都松山宣言」を発表しました。

市内には、子規記念博物館や坂の上の雲ミュージアムなどの文学施設をはじめ、数多くの句碑や文学遺跡があり、平成30年度に50周年を迎えた「俳都松山俳句ポスト」や、高校生による俳句の全国大会「俳句甲子園」を開催するなど、まちの至るところで俳句の風を感じることができます。

皆さんもぜひ、正岡子規生誕の地「俳都松山」へお越しください。



俳句甲子園全国大会の様子

日暮里サニール案内図

